

News Release

平成 26 年 2 月 18 日

「NTT東日本バドミントン教室」の開催について

NTT東日本 埼玉支店(支店長 笠井 澄人)では、地域のスポーツ振興への貢献と青少年の健全な育成等、地域社会の健康増進に貢献することを目的に「NTT東日本バドミントン教室」を開催いたします。

これは、日本リーグなど国内の第一線で活躍するNTT東日本バドミントン部の選手が、東日本地域において開催しているものであり、埼玉県では昨年が続いて二回目の開催となります。

詳細につきましては、下記のとおりです。

記

〔概要〕

埼玉県バドミントン協会加盟の小学生を対象にNTT東日本バドミントン部の選手が実技指導、模範試合等を行います。

- 1.開催日時： 平成 26 年 2 月 23 日（日）10：00～15：00
- 2.開催場所： スポーツ総合センター（上尾市 東町 3-1679）
- 3.開催名称： NTT 東日本 「バドミントン教室」
- 4.主 催： NTT 東日本 埼玉支店
- 5.協 力： 埼玉県バドミントン協会
- 6.対 象 者： 埼玉県バドミントン協会加盟の小学生 約 80 名（約 20 団体）
- 7.指 導： NTT 東日本バドミントン部（8 名）
 - ・コーチ：久保田 雄三
 - ・男子選手：田児 賢一、小松崎 佑也、松丸 一輝、和田 周
 - ・女子選手：後藤 愛、松尾 静香、渡邊 あかね※なお、コーチの久保田 雄三は越谷南高校出身、選手の田児 賢一、松丸 一樹、和田 周、渡邊 あかね は埼玉栄高校出身です。

■NTT東日本バドミントン部の歴史

NTT東日本バドミントン部は、昭和30年に「電電東京バドミントン部」として発足以来、50年以上の歴史があり、厳しい練習を積み重ね数々の大会において好成績を残し、日本バドミントン界をリードする名門としての伝統を築き上げてきました。

昭和60年には、日本電信電話公社の民営化(日本電信電話株式会社)に伴い、チーム名を「NTT東京」に変更、平成11年7月には、NTTの再編成(東日本電信電話株式会社)に伴い、チーム名を「NTT東日本」に変更し、現在に至っています。

日本リーグにおける過去の成績は、優勝17回(10連覇含む)、準優勝10回。全日本実業団大会では、優勝28回(15連覇含む)、準優勝31回の成績を取っています。(いずれも最多優勝回数)

■2013～2014年の主な成績

●バドミントン日本リーグ2013 (9/28～12/29)

男子 : 第3位

女子 : 第3位

[表彰選手]

男子 : 敢闘選手賞 桃田 賢斗 選手

女子 : 敢闘選手賞 樽野 恵 選手・新玉 美郷 選手

新人選手賞 渡邊 あかね

●第67回 全日本総合バドミントン選手権大会 (12/2～12/8)

男子シングルス 優勝 (田児 賢一 選手 ※6連覇)

女子シングルス 優勝 (三谷 美菜津 選手 ※初優勝)

女子ダブルス 準優勝(樽野 恵 選手・新玉 美郷 選手)

●第56回 全日本社会人バドミントン選手権大会 (8/31～9/4)

男子シングルス 優勝 (桃田 賢斗 選手)

男子ダブルス ベスト4 (小松崎 佑也 選手・竹内 宏気 選手)

女子ダブルス ベスト4 (樽野 恵 選手・新玉 美郷 選手)

●国際大会

[2014年]

マレーシアオープン 男子シングルス ベスト4 (田児 賢一 選手)

韓国オープン 男子シングルス ベスト4 (田児 賢一 選手)

[2013年]

BWFスーパーシリーズファイナル2013 男子シングルス ベスト4 (田児 賢一 選手)

香港オープン 女子シングルス ベスト4 (三谷 美菜津 選手)

中国オープンスーパーシリーズプレミア 男子シングルス ベスト4 (桃田 賢斗 選手)

フランスオープン 男子シングルス 準優勝 (田児 賢一 選手)

ヨネックスオープンジャパン 男子シングルス 準優勝 (田児 賢一 選手)

USオープン2013 男子シングルス ベスト4 (桃田 賢斗 選手)

インドオープン 男子シングルス 準優勝 (田児 賢一 選手)

大阪インターナショナルチャレンジ 女子ダブルス ベスト4 (松尾 静香 選手・渡邊 あかね 選手)

ポーランド国際 男子ダブルス 準優勝 (小松崎 佑也 選手・竹内 宏気 選手)

スイスオープン 女子シングルス 第3位 (橋本 由衣 選手)

オーストラリア国際 女子シングルス 優勝 (橋本 由衣 選手)

” 女子ダブルス 優勝 (樽野 恵 選手・新玉 美郷 選手)

マレーシアオープン 男子シングルス ベスト4 (田児 賢一 選手)

韓国オープン 女子シングルス 第3位 (三谷 美菜津 選手)